

竜王町下水道事業会計 決算の概要

～数字から見る下水道事業の現在地～

令和7年度はこんな1年でした

1年間の最終的な黒字額 約3,103万円 前年度から約3,234万円増加

下水道使用料収入 約1億7,310万円 前年度から約233万円増加

有収率 91.7% 前年度から3.3ポイント増加

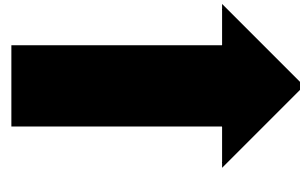
施設整備・借入金返済に使った金額 約4億1,384万円

下水道事業のお金の仕組み

下水道事業には「日々の運営」と「施設整備・借入金返済」という2つのお金の流れがある。

○日々の運営

下水道使用料など



県の汚水処理に係る費用
維持管理費
人件費

日々の生活排水（下水）を処理する

= 収益的収支（第3条）

下水道事業のお金の仕組み

○施設を将来につなぐためのお金

補助金・借入金・
内部資金など



下水道管や施設の
整備、更新
借入金の返済

将来も安定して排水する

= 資本的収支（第4条）

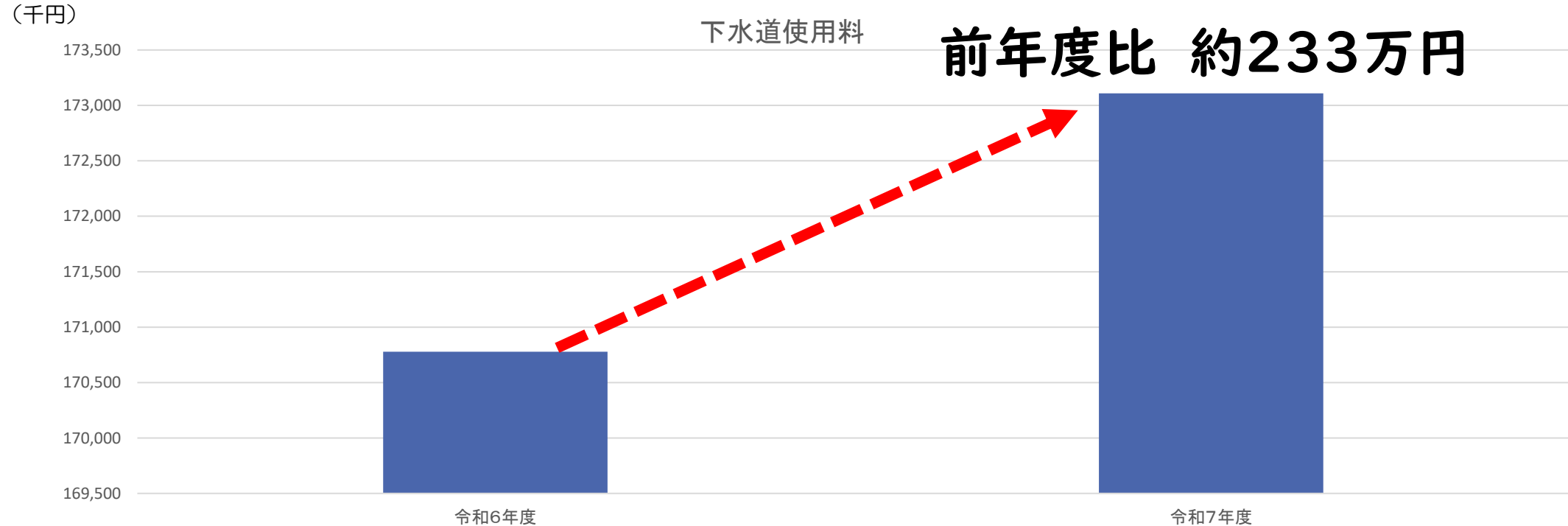
下水道の利用状況

前年度との比較

項目	令和6年度	令和7年度	増減
処理区域内世帯	3,869戸	3,883戸	14戸
水洗化世帯	3,449戸	3,465戸	16戸
水洗化率	89.1%	89.2%	0.1%
有収水量	1,292,849m ³	1,300,322m ³	7,473m ³
処理水量	1,461,051m ³	1,417,945m ³	△43,106m ³
不明水割合	11.5%	8.3%	△3.2ポイント

下水道使用料収入の状況

下水道使用料は下水道事業の収入の約3.5割を占める、最も重要な収入



水道事業と同じく個人宅の有収水量は減っているが工場排水などの増加により全体としては増加となり、使用料収入は前年度を上回った。

1年間に入ってきたお金

収益的収入 約4億9,616万円

主な収入	金額	割合
下水道使用料	約1億7,311万円	34.9%
町からの補助金	約1億6,762万円	33.8%
県からの補助金	約24万円	0.1%
長期前受金戻入	約1億5,443万円	31.1%
その他	約76万円	0.1%

過去に施設整備のために受けた補助金や受贈した資産を、施設の使用期間に合わせて毎年収益として計上するもの

1年間にかかったお金

収益的支出 約4億6,512万円

主な費用	金額	割合
県に支払う汚水処理費用 (負担金)	約6,360万円	13.7%
減価償却費	約2億9,574万円	63.6%
委託料	約2,649万円	5.7%
人件費	約3,065万円	6.6%
企業債利息	約3,481万円	7.5%
その他	約1,383万円	2.9%

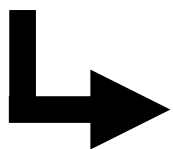
下水道管や施設を整備した経費を、毎年費用として計上するもの

前年度より利益が増加した主な理由

令和6年度

赤字

約130万円



【利益を減らした主な要因】

・人件費の増加 約649万円

・動力費の増加 約30万円

【利益を増やした主な要因】

・下水道使用料収入の増加 約233万円

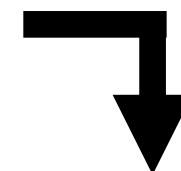
・他会計補助金の増加 約2,562万円

・負担金の減少 約147万円

・減価償却費の減少 約66万円

・企業債利息の減少 約240万円

※その他の収益・費用の増減 約664万円



令和7年度

黒字

約3,103万円

施設整備と借入金返済

資本的支出 約4億1,385万円

建設改良費 : 約1億5,933万円 下水道管の整備に使ったお金

企業債償還金: 約2億5,452万円 過去の施設整備で借りたお金の返済

資本的収入 約2億4,717万円

補助金 : 約5,597万円 整備に係る国からの補助金

他会計出資金: 約9,010万円 町一般会計からの出資金

企業債 : 約1億 110万円 整備に係る借入金

不足する約1億6,668万円は内部資金等で補てんしている

なお、この不足額は日常の下水道事業で発生した赤字ではない

現在の経営状況

年度末の現金残高

約2億5,675万円

今後の工事や支払いに備えるお金

企業債残高

約28億4,032万円

今後返済していく借入金

下水道使用料未収金

約293万円

前年度から約35万円減少

※令和7年度末時点で納期限が到来している金額

令和7年度決算から見えること

【令和7年度の状況】

1年間の収支は他会計補助金により黒字となった

有収水量、下水道使用料収入は増加した

降雨量が少なかったことから処理水量が減り、負担金も減少した

下水道管の更新や借入金返済は今後も継続する

課 題

- ・水道と同じく人口減に伴い有収水量の減少

- ・下水道管渠の更新

耐用年数(50年)、不明水対策、耐震化対策

- ・汚水処理費用の高騰に伴う負担金の増加

- ・これまでの借入金の返済

- ・下水道使用料の適正化